

都市の谷



Site・Concept

福岡市中央区大手門

南の福岡城、大濠公園、舞鶴公園、北の臨海地区に囲まれた自然、歴史に富んだポテンシャルの高い地域。

臨海地区では西公園にわたって将来的にウォーターフロント開発がされる。数地の大手門商店街への入り口は狭く、大濠公園からの道は、大通りで分断されており、アクセスしづらい。

大濠公園から臨海地区、西公園を結び回遊性を持たせる。公園でランニングを楽しむ人がそのままハイラインを伝って大手門商店街に訪れるような連続した歩行者空間を計画。

都市の谷

放物線状に建物の高さに規制をかけ、見通しを良くするとともに通り両側の活動を盛じられるような都市の谷をつくる。

これらの先駆けとして、複合施設を計画する。

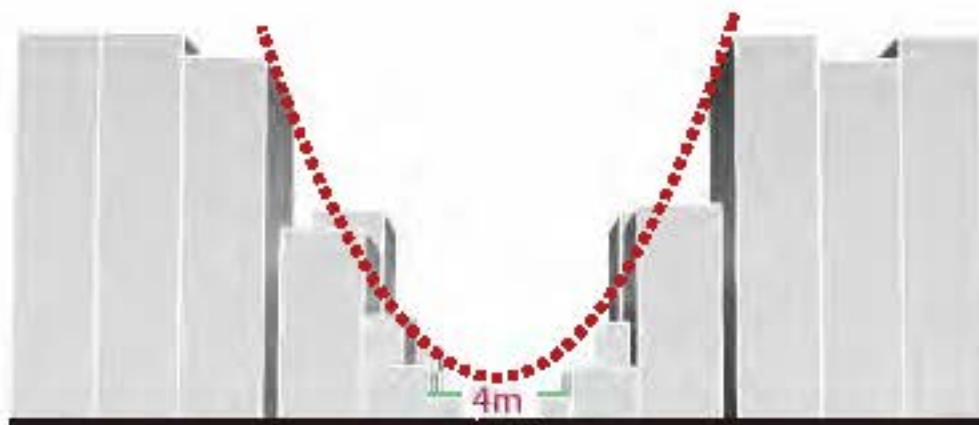


High line

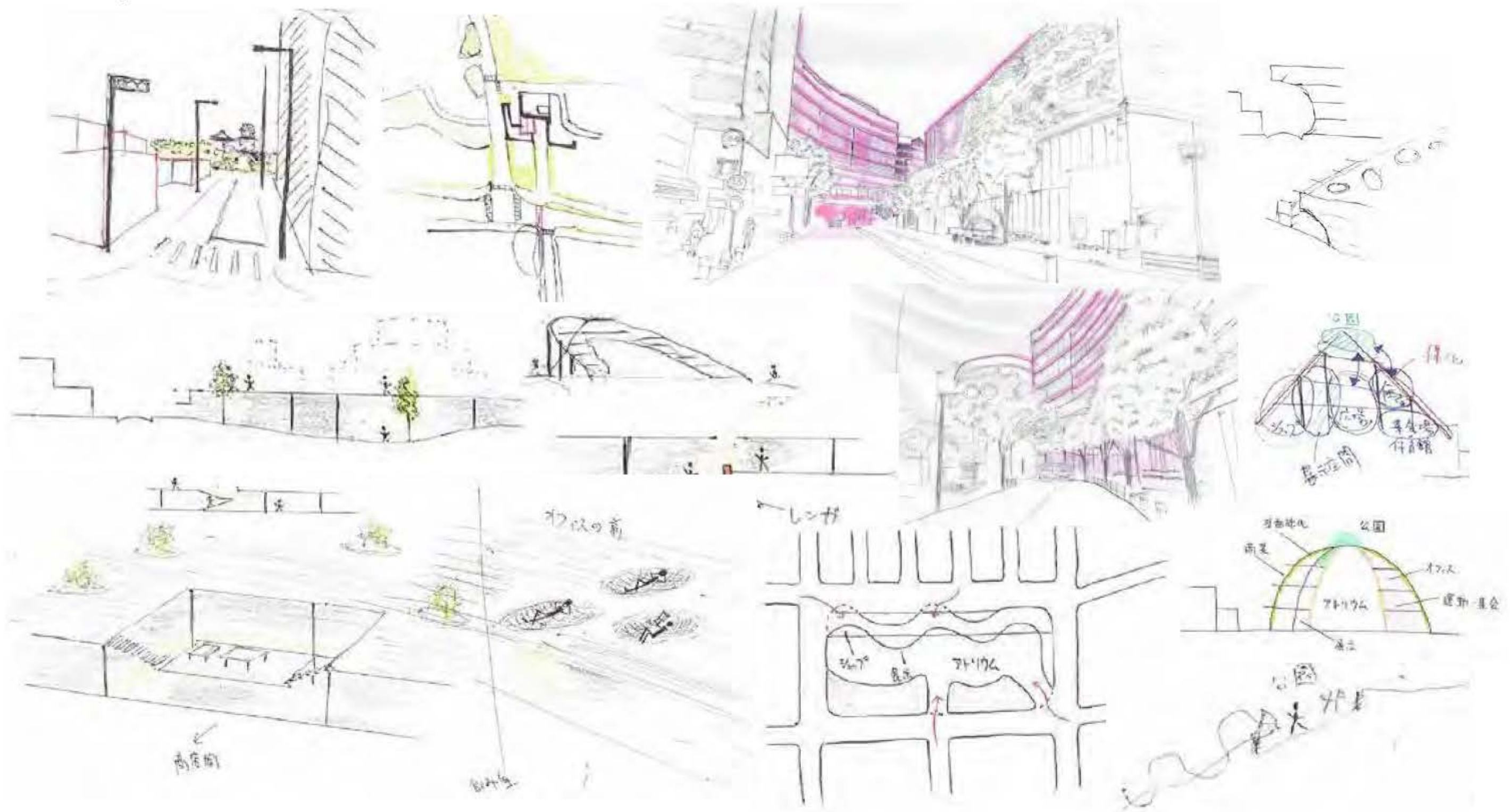
既存の建物に対しては前面に仮設のハイラインをたて、建て替えのタイミングに合わせて新たにハイラインを増設する。

また、大手門商店街の通りの道路の幅を締め、グラウンドレベルでも歩行者空間を確保する。

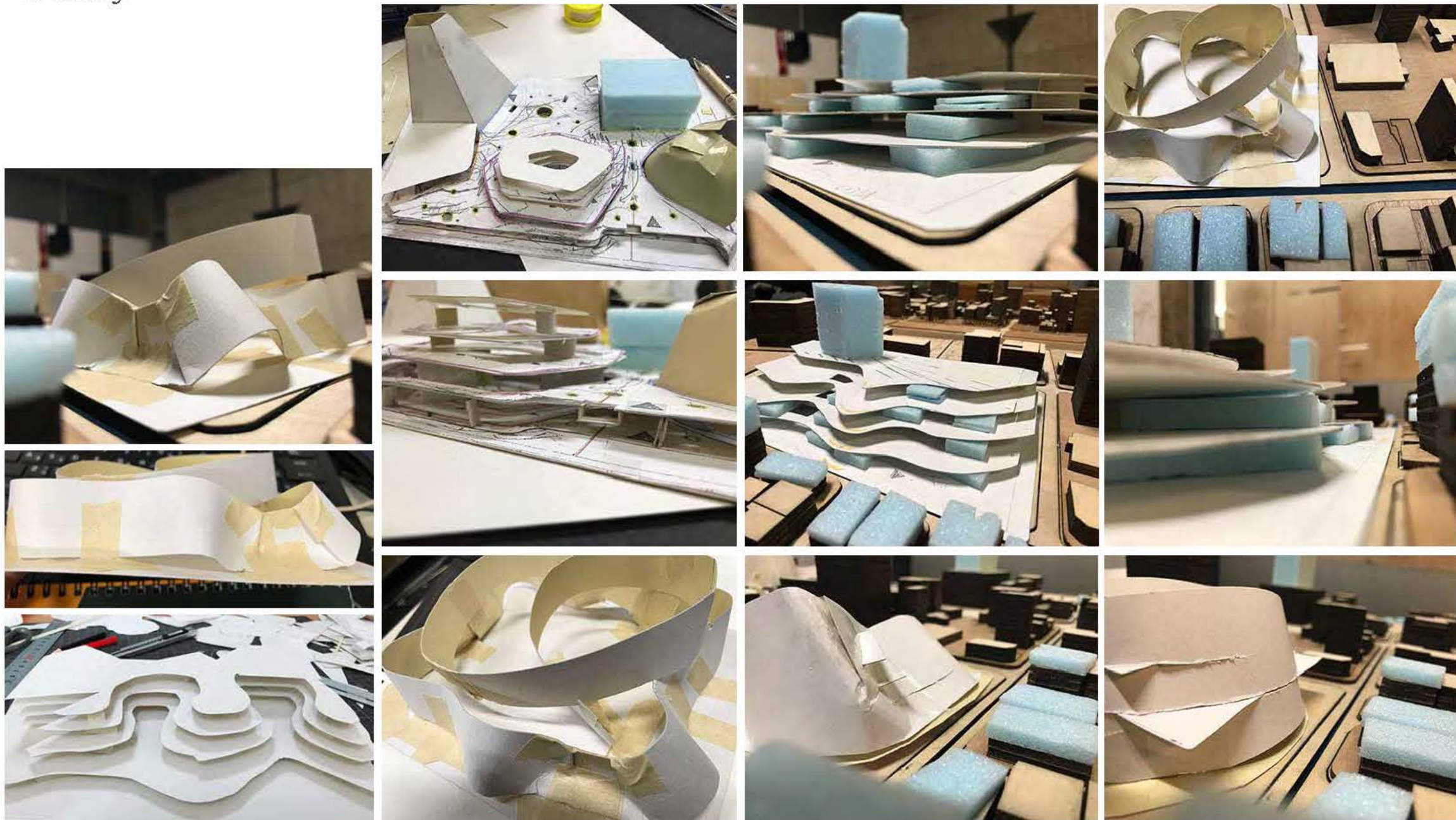
GL+4m(大通り上は5m)。道路側には1m掘り下がったベンチ。ランニングする途中で疲れて少し休憩したい時や商店街で買った食べ物をちよっとつまんで一休みなどができる。



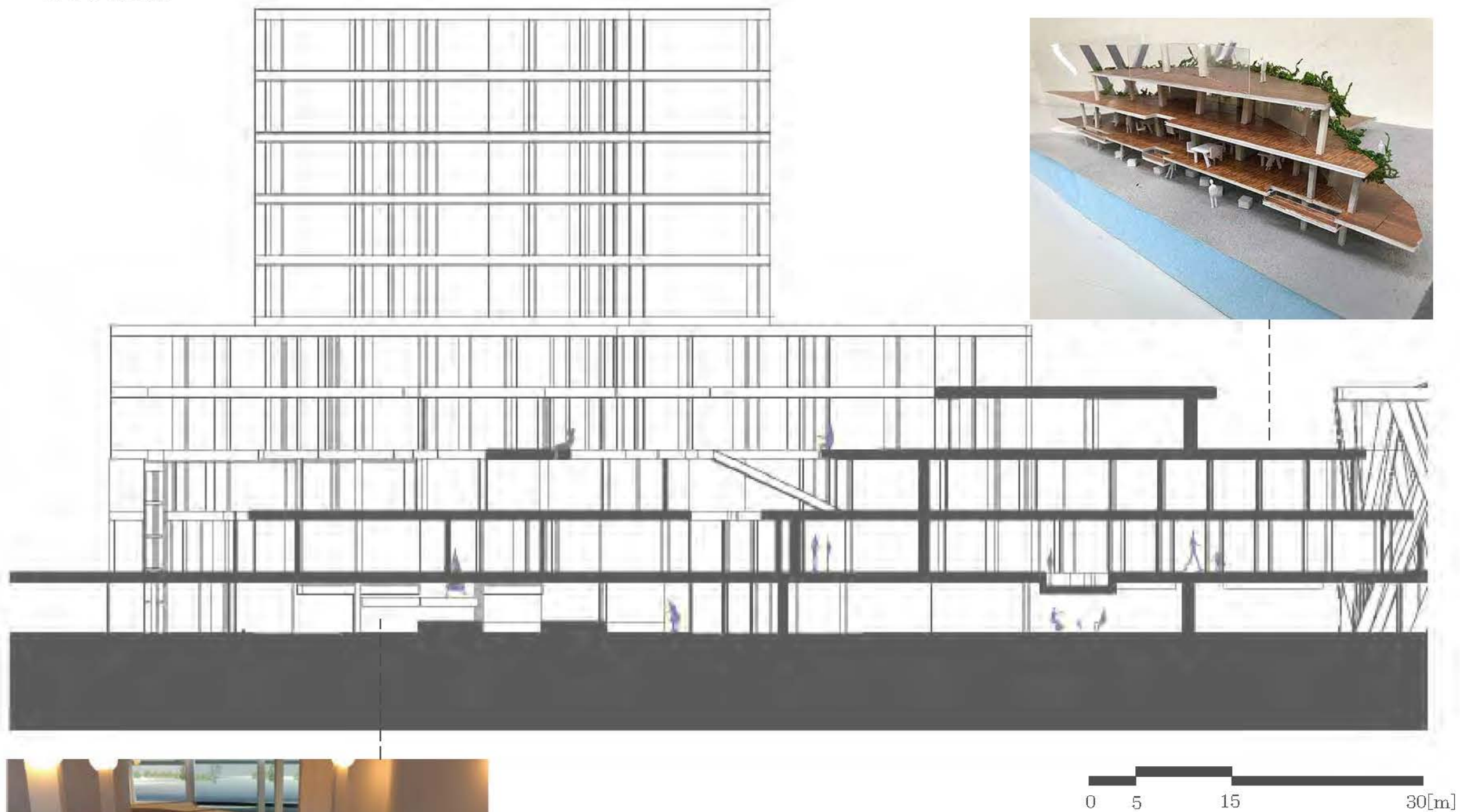
Study



Study



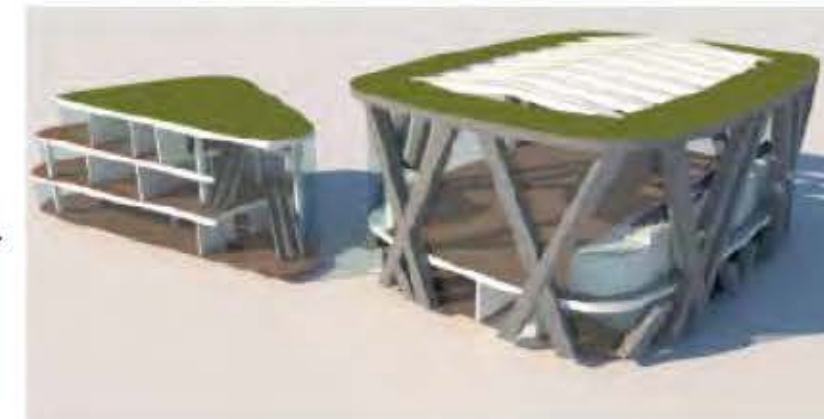
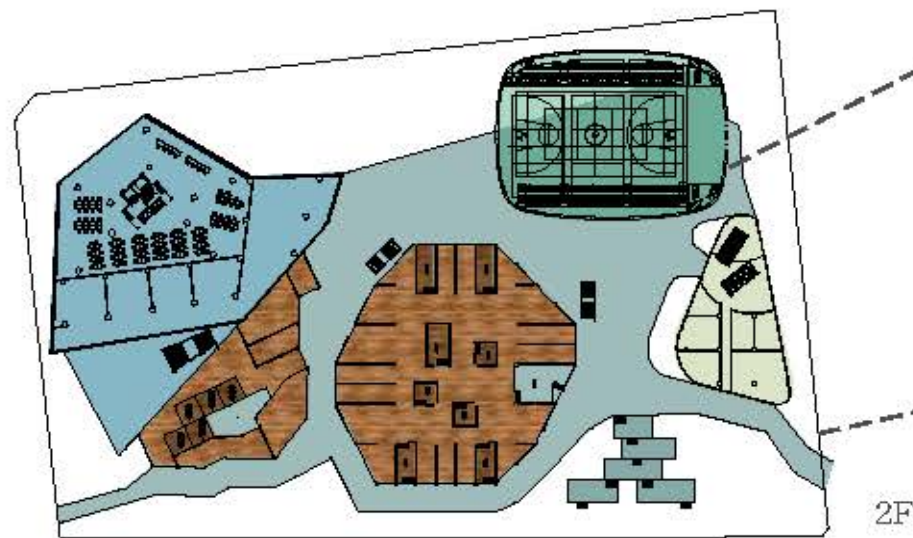
Section



1階2階部分では立体的に空間をつなぎ、商店街からの視線をつなぐ。
商店街から1Fに入り店内を散策していると2Fレベルにいる、そんな体験ができる。

Plan

簗子小跡地に立てる複合施設は、文化施設棟、体育施設棟、オフィス棟と2つのショップ棟の5棟で構成。
5棟はそれぞれ低層部分でつながっており、2階レベルではHigh lineとも接続している。
尾根と谷の凹みは、通りから奥の活動を見せる。



トラスとガラスの体育施設。
通りからは、トラスと活動が見える。



High line で繋がるショップ棟と体育施設

